

鍵付き記事  も、紙面



有料版

高知新聞 PLUS+ DIGITAL なら、

2026.03.28 08:23

# 高知新聞厚生文化事業団 2026年度春の助成、10団体に155万円

高知新聞社

SHARE

全ての画像を見る

高知新聞厚生文化事業団は、2026年度（4月～27年3月）の事業助成を10件155万円にすることを決めました。県民の福祉や芸術文化の振興などに貢献している各種事業を支援します。

18件の申請があり、選考委員会の意見に基づき理事会で選考した結果、次の助成を決定しました。（順不同）

- ◆特定非営利活動法人高知県断酒連合会（高知市）15万円
- ◆こうち赤い鳥の会（高知市）15万円
- ◆高知県高坂学園生涯大学（高知市）10万円
- ◆高知バツハカンタータフェライン（高知市）20万円
- ◆TOMOはうす（いの町）15万円
- ◆土佐中村一條太鼓（四万十市）20万円
- ◆四国フィルハーモニー管弦楽団（日高村）20万円
- ◆高知県独立書人団（高知市）20万円
- ◆高知県作文の会（土佐市）10万円
- ◆Klavier♪（クラヴィア）（高知市）10万円

(公財) 高知新聞厚生文化事業団

ペット保険、どこがいい？

PS保険

高知のニュース

地域別

国内・国際

高知ユニテッド

読もっか

社説

連載・特集

「あんなに酒を飲んだら、体が壊れてしまった。もう酒を飲まないで済ませたい。でも、酒を飲まないと体が壊れてしまった。」

アルコール依存症の当事者や家族一人一人が酒害体験を語り、聞く。定期的な「例会」を通じ、孤立を防ぎながら回復を目指す自助グループ「断酒会」。1958年、高知県で立ち上がり全国各地に広がった。



例会に参加し自らの体験を語る参加者（高知市葛島4丁目の市東部健康福祉センター）

県断酒連合会は県断酒新生会、南四国断酒会、幡多断酒会で構成され、当事者会員は30～70代の約50人。例会はそれぞれ週1～2回のペースで開かれる。

自らも当事者である小松重洋・連合会会長（57）は、会と出合ってから約20年間、断酒が続いている。「お酒は『命の水』で手放せなかったはずなのに、仲間がいると飲酒欲求が弱くなった」と実感を語る。

4月5日には啓発フォーラム「四国断酒ブロック大会」が高知市で開かれる。小松会長は「お酒の問題で苦しんでいる人は多いと思う。ぜひ参加してほしい」と呼びかける。（石丸静香）

### 【こうち赤い鳥の会】童謡の楽しさ 全世代に

日本の文化である童謡を歌い継ぐと活動する「こうち赤い鳥の会」。ピアニストや声楽家が講師となり、1回500円で参加しやすい童謡教室を高知市内で20年以上続けている。

新型コロナ禍で参加者が減り、若者との接点も少ない中、「幅広い世代に童謡に親しんでもらう機会を」と昨春初めて「童謡唱歌コンクール」を同市内で開催。3～85歳の個人・グループが参加した。



幅広い世代が童謡を披露した第1回童謡唱歌コンクール（昨年4月、高知市内）

[高知のニュース](#)[地域別](#)[国内・国際](#)[高知ユナイテッド](#)[読もっか](#)[社説](#)[連載・特集](#)

「旧来は、1位を競うのではなく、ノエス・イハルのような芬曲気。いつか刀に里誦で楽しく歌ってもらい、広められれば」。当日の観覧を呼びかけるとともに、3月30日まで出場者も受け付け中。詳細はNPO法人「こうち音の文化振興会」のサイトへ。(徳澄裕子)

## 【高知県高坂学園生涯大学】高齢者の生きがいの場

「おじいは大学で勉強しよるぞ。お前も頑張れって高校生の孫に自慢できる」。県高坂学園生涯大学（奥田一雄学長）に通って18年になる琴寄学さん（86）＝高知市＝は鼻高々だ。

高齢者に生きがいを持ってもらおうと1982年に開校。60歳以上が入学でき、2025年度は最高齢99歳、平均79歳の640人が在籍。月2回、歴史や健康、時事問題などを学び、研修旅行もある。

3月、J組最後の講義には約100人が出席。高知東署員の特殊詐欺防止の寸劇で盛り上がり、弁当を食べた後は修了式後の宴（うたげ）に向けて合唱などを練習した。

同大学の渡辺泰方・運営委員長（87）は「ミニスカートをはき、ピンク・レディーを歌うグループもありますよ」とにっこり。「ここは高齢者の居場所。年を忘れて青春し健康寿命延伸、孤独対策になっている」

学費は7千円で入学は随時、見学も可。8月には広く活動を知ってもらおうと高知市で公開講座を開く。(加治屋隆文)

## 【高知バッハカンタータフェライン】本格的なバッハ届ける

「音楽の父」と呼ばれるJ・S・バッハを中心としたバロック音楽の魅力を県内で広めてきた合唱団「高知バッハカンタータフェライン」は、来春で創立30周年を迎える。



特殊詐欺防止の寸劇を楽しむ学生ら（高知市葛島4丁目の市東部健康福祉センター）

[高知のニュース](#)[地域別](#)[国内・国際](#)[高知ユナイテッド](#)[読もっか](#)[社説](#)[連載・特集](#)

伴を14人が練習し、母十音に止期演奏云で開催。県民に本格的なバロック音楽を披露している。

来年3月に予定している30周年演奏会では、弦楽器や打楽器などを動員したオーケストラで、大規模編成の曲に挑む予定。大田美里代表(35)は「聖書の言葉を使った教会カンタータの歌詞とバッハのメロディーが一体的。バロック音楽の魅力を感じ取ってほしい」と意気込んでいる。(横田晃大)



30周年記念演奏会で披露する曲を練習するメンバー(高知市曙町2丁目の高知大朝倉キャンパス)

## 【TOMOはうす】自閉症児への理解伝える

自閉スペクトラム症など発達特性のある子どもを保護者らを支える「TOMOはうす」(いの町)。2019年からイギリス自閉症協会のプログラム「アーリーバードプラス」の研修会を続け、子どもとの向き合い方やコミュニケーションの方法などを伝えている。

代表の久武夕希子さん(69)は「自閉症の子は視覚優位なケースが多い。言葉で説明するより、絵などで『見える化』することが大切」と説く。喜びや不安を数字やマークで示す「気持ちの温度計」などを取り入れることが効果的という。



研修会の内容を話し合う久武夕希子さん=中央=ら(いの町)

研修は3か月。4～9歳の自閉症児の保護者らに座学や家庭訪問などを行う。「子どもの問題行動が激減した」「家庭が明るくなった」と好評で、参加者同士が悩みを相談し合える場にもなっている。

自閉症児らが歌やギターなどの特技を披露するイベントも構想中。「子どもたちが自信を持って、自分の個性を発信できる場を作りたい」と話している。(谷沢士彦)

[高知のニュース](#)[地域別](#)[国内・国際](#)[高知ユナイテッド](#)[読もっか](#)[社説](#)[連載・特集](#)

こいつが何戸こどもに、力強い拍入鼓の音が響き始めた。

会長の池本宏さん（57）の父、充明さん＝故人＝が「市の活性化につながる独自の文化を作ろう」と1992年に結成。現在は同市を中心に幡多地域の小学生から70代までの36人が週2回、稽古に励んでいる。

年1回の定期演奏会に加え、一條大祭や四万十川ウルトラマラソンなどでも披露。地域のイベントを盛り上げる。メンバーの半分ほどが高校生以下。池本会長は「集団行動や思いやり、礼儀を学んでほしい」と太鼓を通じた子どもたちの健全育成を目指す。

2月8日に行われた第32回定期演奏会には約750人が訪れた。池本会長は「一人でも多くの人に楽しんでもらって地域が盛り上がるきっかけを作りたい」と意気込む。次回の定期演奏会は来年3月の予定。（小谷暁）

## 【四国フィルハーモニー管弦楽団】「いい音楽」追求し40年

四国フィルハーモニー管弦楽団が来年、創立40周年を迎える。高知発の楽団だが、「四国」という名を冠する。「いい音楽を一緒に追い求める気持ちに、県境はないから」。設立発起人の一人で運営委員長の中山直之さん（61）は語る。

1987年、20～30代の県出身の音楽大学卒業生や高知大、愛媛大の交響楽団出身者らが集まり結成した。現在20～60代の約50人が所属。四国をはじめ東京や広島、沖縄など全国の奏者が在籍する。



力強く太鼓を打つ土佐中村一條太鼓メンバー（四万十市敷地）



全国各地の奏者が所属する四国フィルハーモニー管弦楽団の演奏会（同楽団提供）

高知のニュース

地域別

国内・国際

高知ユナイテッド

読もっか

社説

連載・特集

る。(人休夜興)

**【高知県独立書人団】“聖地”の書 全国に発信**

高知県独立書展が7月、40回の節目を迎える。「『書の聖地』と言われた高知の書を、改めて全国に発信したい」。県独立書人団の富岡豊英代表は意気込む。

県書人団は安芸市出身の書家、手島右卿（ゆうけい）が創設した独立書人団の支部として1983年に発足。弟の高松慕真が設立した墨線美術協会と会員の多くが重なっていたことから合同で展覧会などを開催してきたが、2018年に組織を一本化した。会員約100人。毎年の展覧会に加え、春・秋の制作研究会、競書誌「独立高知」発行などの活動を続けている。

第40回記念展は7月21～26日、高知市九反田の市文化プラザ「かるぽーと」で。前身の同協会時代からの代表である慕真、福原云外、田中白歩らの作品、「独立高知」に出品した児童生徒の作品、会員有志の大作などを展示する。

富岡代表は「少子高齢化、物価高…と書を取り巻く環境は厳しい。記念展では、書の存在価値についても世に問いたい」と話している。(小川一路)

**【高知県作文の会】「書く」を通じ感性育む**

「『宿題で日記を書くのが一番楽しかった』って」「これが書くことの意味やね」。児童が1年間、毎日書き続けた日記をまとめた文集を手にも高知県作文の会のメンバーの声が弾む。

1994年発足。日記や作文、児童詩などを



県独立書人団運営委員会のメンバー（高知市本町4丁目の高知重工ホール＝県民文化ホール）



にふかつくいはいんばせ。

同会は春と秋に開く学習会で、実践発表やワークショップを通じ交流。夏には県作文教育研究大会で教員同士が実践を共有し学びを深める。今年は7月に黒潮町で開催を予定する。

小浜みほ会長は「日々の生活をつづり、読み合い、子どもたち同士がつながる実践を継承したい。ぜひ若い先生にも学びの場にしてほしい」と話している。(横山仁美)

### 【Klavier♪ (クラヴィア)】親子でクラシックを

「高知の子どもと、育児を頑張る親が気軽にクラシックを楽しんでほしい」。いずれも本県出身のピアニスト、木村成美さん(44)とフルート奏者の泉真由さん(41)は来年1月9日、未就学児も観覧できるコンサートを高知市文化プラザ「かるぽーと」で開く。

2人は2012年から演奏会を開催。しかし未就学児が入場できず、子育て中の家族や知り合いの多くが観賞を諦めていた。



「クラシック音楽を親子で楽しんでほしい」と話す木村成美さん(高知市東奏泉寺)

そこで18年と22年、親子で楽しめるコンサートを開催。座敷席を設け、子どもが飽きないよう2、3分の短い曲を多くした。雨音やハチの羽音など身近な音に着想を得た楽曲を公演の中心にすることで、子どもの想像力の向上も狙った。

2人とも24年度に出産。子育ての傍らで次回の公演準備を進める。クラリネットを加え、より温かみのある演奏にしたいと考えているようで、木村さんは「子どもが楽しむ姿を見て親が癒やされるような演奏をしたい」と意気込んでいる。(相良平蔵)

高知新聞PLUS限定記事を表示しています。今月の閲覧本数：残り 4本

## 今、あなたにおすすめ >

### monblu HBD-WA20

タイプ：ブルーレイレコーダー 同時録画可能番組数：2番組 HDD容量：2TB 早見再生：1.6倍速 無線LAN：○  
価格.com | PR

Check

### iPhone 17はドコモでおトク

iPhone 17は「ドコモU22割」で、22歳以下なら、ドコモ MAXがおトク。各種割引適用で最大7か月間0円で30GBつかえる！  
NTTドコモ | PR

詳細

### 【公式】ヤクルト届けてネット

初回1週間分7本無料、新生活応援キャンペーン実施中！  
ヤクルト1000 | PR

詳細

### 尾崎正直氏（衆院高知2区）高市新内閣の官房副長官に 「政界の登竜門」 高知県選出で初

参院本会議が終わったのを確認し、官邸に向かう尾崎正直氏（東京・永田町の議員会館事務所） 高市早苗首相の新内閣が21日に発足し、尾崎正直氏（58）＝衆院高知2区＝が官房副長官に就任した。自民党総裁選で高市氏を支えてきた尾崎氏は「重責をいただき...

### 「私も土佐の流れを受け継いでいる」死去した前共産党議長の不破哲三さん、高知がルーツ 父が土佐清水出身

第28回共産党大会で中央委員に選出され、挙手する前議長の不破哲三氏＝2020年1月、静岡県熱海市 30日亡くなった共産党元委員長、不破哲三さんの父は土佐清水市三崎出身の教育者、故上田庄三郎さんで、高知県はルーツの地だった。 ■前共産党議長の...

### 中谷元氏（衆院高知1区）が防衛相退任「自分なりの集大成」全力尽くした任期振り返る

中谷元氏 21日の高市内閣発足で防衛相退任が決まった中谷元氏（68）＝衆院高知1区＝は、3度目の防衛トップを務めた1年を「自分なりの集大成」として、精強で国民から信頼される自衛隊のために全力を挙げて.....

## 注目の記事 >

高知のニュース | 高知市 | ひと・人物 | 教育  
75歳、定時制高校8年通い「全科制覇」高知市の松岡さん、約80年の歴史で2人目「まだまだ学び続ける」

2026.03.27 12:00

高知のニュース | 土佐市 | WEB限定 | 写真・グラフ | 高知百景  
【3/27更新】なにげない高知の日常写真特集「高知百景」 潮の香る町へ

2026.03.27 13:00

高知のニュース | 高知市 | 南国市 | 経済・産業 | 倒産・破産  
「ピザ・ロイヤルハット」高知県内で5店舗が閉店 徳島市のFC運営会社が破産手続き開始 別会社運営の長浜店は営業続ける

2026.03.27 08:47